

編集後記

日本核医学会学術総会は昨年で50回を数えました。半世紀という短いようで長い年月を経て、一つの区切りを迎えたこととなります。多くの会員の先生方や関係各位のご尽力に感謝いたします。また、これを機に本田会長の手で記念誌が発刊されました。中を拝見すると歴史的に貴重な資料や写真が掲載されているとともに、記憶に新しい近年の長足の進歩が手に取るように伝わってきます。私も、私が関わっている地方会の歴史を紐解いてみました。学術総会からは5年遅れでのスタートだったようですが、初回から放射線科のみならず内科・外科・産婦人科・泌尿器科・生化学など幅広い分野から300名の参加者を集めたそうです。核種は ^{131}I のほかに、 ^{203}Hg 、 ^{85}Kr など現在は用いられていないものも見られ、 $^{99\text{m}}\text{Tc}$ はまだ普

及していません。ところが当時の評論や総説などに書かれている核医学の将来展望の記事を見ますと、機能や代謝の測定、画像化、分子核医学治療などがすでにしっかり書かれています。驚いたことに、現在われわれが将来構想として描いているものの多くは、実は50年前にすでに描かれていたようです。中には実用化されたものもあれば、まだまだ実用化には時間がかかりそうなものもあります。いずれにせよ、諸先輩方の将来を見通す眼力には感服いたしました。

今年は卯年。「暑」の字に集約された昨年の鬱陶しさを早く追い払って、大きな耳で重要な情報を漏らすことなく、持ち前の跳躍力で大きな飛躍の年にしたいと思います。是非、50年前の先輩方から賛辞をもらえるような新しい50年を築くべく、編集委員会としても頑張りたいと思います。

(佐々木雅之)

核医学編集委員会

委員長： 絹谷 清 剛 (金沢大学医薬保険研究域医学系核医学)
 副委員長： 佐々木 雅 之 (九州大学大学院医学研究院 保健学部門医用量子線科学分野)
 委員： 石井 一成 (近畿大学医学部 放射線医学講座 放射線診断学部門)
 犬伏 正 幸 (放射線医学総合研究所 分子イメージング研究グループ)
 河邊 讓 治 (大阪市立大学大学院医学研究科 核医学科)
 河村 和 紀 (放射線医学総合研究所 分子認識研究グループ)
 久慈 一 英 (埼玉医科大学国際医療センター 核医学科)
 下瀬川 恵 久 (大阪大学大学院医学系研究科 核医学講座)
 立石 宇貴秀 (横浜市立大学大学院医学研究科 放射線医学講座)
 橋本 順 (東海大学医学部基盤診療学系 画像診断学)
 東 達 也 (滋賀県立成人病センター研究所)
 渡 部 浩 司 (大阪大学大学院医学系研究科 医薬分子イメージング学寄附講座)

「核医学」第48巻1号 平成23年2月28日発行 本号定価 ¥1,800

編集兼発行者 絹谷 清 剛

〒113-0021 東京都文京区本駒込2-28-45 (社)日本アイソトープ協会本館3階

発行所 一般社団法人 日本核医学会

振替口座 00180-5-741770 番

電話東京 (03) 3947-0976 FAX (03) 3947-2535

E-mail : anm@xvg.biglobe.ne.jp

ホームページ : <http://www.jsnm.org/>

印刷所 株式会社 海川 企画

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-51-1

電話 (03) 3806-0961 (代) FAX (03) 3806-0848

広告申込所 〒102-0071 東京都千代田区富士見2-12-8 電話 (03) 5226-2791 (代) 日本医学広告社